

2009年2月3日

mail ニュース

26・通巻 215号

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 米山隆史

TEL 03-5381-0250

江東区へ自治体キャラバン

09春闘の本格的な取り組みが始まり、5回目となる自治体キャラバンが1月28日から行われています。2月9日までにほとんどの区市における自治体キャラバンが終了します。

2月3日に参加してきた江東区の様子を紹介して、報告とします。

江東区の自治体キャラバンは2月3日の午後1時30分から江東区文化センター第12会議室で開催されました。江東区当局からは、鈴木総務課長をはじめ、4人の課長が対応しました。要請には、永瀬(東京春闘共闘)、清沢(介護労)、森田(自治労連都庁職)、遠藤(江東区職労)、中村(江東区労連)、公務公共一般、東京土建など、9人が参加しました。

要請団を代表して、永瀬さんが挨拶した後、事前に要請してあった質問に対する江東区からの「答記入シート」が提出されました。また、東京春闘共闘から「悪化する雇用に対し公的雇用による救済策を推進することを求める緊急要請書」が手交されました。

清沢さんは、江東区が直接雇用している臨時・非常勤職員などの賃金引上げなどについて、「昨年4月に4.49%の増額を行ったことは承知しているが、今年もぜひとも大幅な増額をお願いしたい。また、派遣切りにあった青年労働者は、当座の雇用の確保はもちろんだが、安定した生活を求めている。自治体が正規職員をもっと雇用することを要望する」と述べました。

区からは、「2年連続の報酬アップは難しいが、交通費については100円アップした。採用は競争試験なので、正規職員化は緊急対策では難しい。」などと答弁がありました。

東京土建は、総合評価による入札制度の一層の促進とその際の意見聴取を行う学識経験者の中に労働組合代表を含めることなどを要請しました。

自治労連都庁職の森田委員長は、「私たちが要求している時給1150円は高いというが、あなた方の時給はいくらなのか。均等待遇が行われるよう、努力していくべきではないのか。周囲の区と比べてばかりいないで、貧困と格差をなくすために何をすべきかを考えて行動すべきである。」と述べました。

江東区は、別途提出した「緊急要請」については即座に回答することは出来ないもので、持ち帰って検討する、と述べました。要請団は文書による回答を求めました。キャラバンは予定時間を超過し、2時45分に終了しました。